

2018/4/21

和木学園歴史教室



4月21日（土）、「和木学園歴史教室」を開催しました。

講師には和木町文化財保護審議会会長である

正中克磨氏を迎え、総勢11名の生徒が受講しました。



歴史教室講師 正中克磨先生

まずは、江戸期の和木町域についての座学から。

古地図と現在の地図をみながら和木町の国境紛争に至るまでを

分かりやすく説明されました。小瀬川の変貌ぶりに驚きと

工期の短さに当時の技術力、折衝力の凄さを垣間見れました。





座学のあとに和木のまちへ。

昔と今が交錯して

ウォーキングの足もタイムスリップの一步へ！

天候も良く、汗ばむ陽気です。



一里塚前での説明

一里塚は、街道沿いの「印」を表しています。

今でいうキロポスト。(小瀬から4キロ)



田中明神の灯籠には・・・

田中明神は、田んぼの中にあったようです。

灯籠には和木町と繋がりのある国名が彫られています。



郵便局前の道を歩いていると

昔からあった道と、戦中に作られた道とが

交錯しているポイントを発見！

なぜ、こんなところに三角形が！？

そんな中、昔と今が交錯する瞬間が訪れました ↓

線路付近を歩いている時・・・フォッフオ！（聞き慣れない汽笛音）

ん？ 見上げてみると



おや？



え？



レアじゃ！！

正にタイムスリップした、歴史教室！！



封境の地では、長州軍の強さを改めて実感します。



安禅寺

大滝と書いてオオタケと読む、安禅寺には町指定の有形文化財が保管されています。



バスに乗り込んで蜂ヶ峯にある歴史資料館へ



歴史資料館建設当時の和木町のジオラマ

これは、当時の中学生が作ったようで

すごい完成度です！

正中氏の話に引き込まれ

和木の地でこれほどまでに多くの

エピソードがあることに気づかされた

歴史教室となりました。

本講座に参加した生徒さんによる歴史アンケート結果は

「大変満足」が87.5%、「満足」が12.5%

次回もご期待ください！

町ぐるみ和木学園歴史教室

日時 平成30年4月21日(土)
9:00~13:00
会場 和木町文化会館及び町内

◎和木地区・歴史資料館 コース(4月21日)

文化会館(集合) → 座学 → 文化会館(出発) → 一里塚 → 田中明神 → 三秀神社 → 米元広右門碑 →
9:00 9:40 9:50 10:00 10:20 10:30

義専寺 → 竹原七郎兵衛徒涉地点 → 封境の地 → 安禅寺 → 嘉屋又蔵の墓 → 役場西側駐車場 → 歴史資料館 →
10:45 11:05 11:10 11:20 11:30 11:40 11:55

文化会館 → (解散)
12:40 13:00

